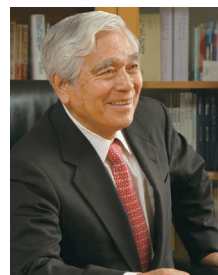




狭山ヶ丘通信

本校の実情をお知らせし、教育問題、社会問題等に関する本校校長小川義男の見解などをお読みいただくため「狭山ヶ丘通信」を発行いたしております。また、本校ウェブサイトにてバックナンバーもご覧いただけます。https://www.sayamagaoka-h.ed.jp/ 〒358-0011 埼玉県入間市下藤沢981 TEL:04-2962-3844 FAX:04-2962-0656 狭山ヶ丘学園 広報部

日本人の 心のあたたかさ



狭山ヶ丘高等学校
狭山ヶ丘高等学校附属中学校
校長 小川義男

「八分」というものがある。分かりやすく言えば「仲間外し」と言うことだ。外国の場合、宗教、思想が絡む場合が多い。ほとんどと言って良い。それはもう、徹底していて、まず、逃れる余地はない。歴史的にも現在も、人々に極度に恐れられている。

我が国では、「村八分」と呼ばれていて、それは外国と、どう違うのか。ある地域で制裁を加えることになった場合も、「二分だけは残すのである」「残される二分」とは何か。それは「火事」「葬式」だ。

どんなに制裁を加えたい場合も、「火事と葬式だけは付き合う」と言うのが、我が国独自の制裁の仕方であった。ここが、外国の限度を超えて厳しい、徹底した「仲間外し」と、日本の集団制裁との違うところである。

火事になったら、恨みは忘れて、みんなで消しに行く。葬式には、過去の経緯は忘れてお参りに行き、葬儀を進めることに協力する。何と凄いい、我が国の「集団規律」であろうか。私は、水田農業のゆとりの中から生まれた、この制裁方法

が、砂漠に生まれた規範の厳しさと異なるところではないかと思う。

「国葬騒ぎ」が一段落した。私のこれまでの人生は短いとは言えぬが、葬儀の最中にデモが押し掛けようとしたというのは、初めて見聞きするところである。

反省すべき点、国全体にある。国葬の戦後の事例としては、吉田茂氏の例がある。一方で、沖縄返還の大事をやり遂げた、佐藤栄作氏は、国葬の対象とはならなかった。

死者を貶めるつもりはないが、安倍氏は、その政治経歴において、無傷とは言いがたかった。

さりとて、「国葬反対」のデモもいささか騒がしかったし、葬儀場まで、デモが押し寄せるというのは、初めて経験するところである。

これを非難するのは易いが、この事態を予測、回避できなかったのは、政府側に安易さがあつたのかも知れない。

戦後、総理の国葬は吉田茂氏ただ二人と聞く。彼は、非武装の戦後憲法を盾に、結成日も浅い「警察予備隊」が、朝鮮戦争に派遣されることを阻止した。この意味で戦後憲法の非武装の立場は、非常に役に立った。それに彼は、戦後処理最大のテーマであった、日本の完全独立推進に大きく貢献した。戦争中は右翼のテロに、命を失う危険を、ギリギリのところで回避したと聞く。

今となつては懐かしい思い出だが、ある選挙演説で、安倍氏と一緒に行動したことがある。演説会に勢いをつけるということ、私は演説会の最後に

登壇した。いわゆるトリである。

しかし、私の演説の最中に、安倍氏は、群衆、特に奥さんたちと、握手して回った。美男子だから、その都度、ドツと歓声が上がった。これでは、演説にならない。私はマイクを持つていたから、「安倍さん、握手は後にしなさい」と怒鳴るつもりだったが、相手は元総理だ。吉田茂さんは、大磯の別邸で、総理経験者に対しては、名を呼ばず、「総理」「総理」と呼びかけ、最大の敬意を払って接したそうである。私は、そのまま、どよめきの中の演説を続けた。トリの役割は台無しになってしまったが、懐かしい思い出である。

本校は、甲意は生徒、保護者の思いに任せて、学校としては、特段の指示、決定を行うことを回避した。

警備まことに不十分なまま被害された、元総理の無念に、心から哀悼の意を表する。

我が国の警備体制には、多くの場合、致命的な弱さがある。浅沼稻次郎元社会党委員長は、観衆の面前で、演説中に、壇上で刺殺された。犯人は十七歳の少年であった。私も面識のある浅沼氏の演説の見事さは、今も記憶に残っている。今も惜しまれ無念でならぬ。

我が国の要人警備体制には、相当の弱さがあると思わざるを得ない。

北朝鮮への拉致、誘拐問題についても、例えば中学生だった横田めぐみさんは、部活の練習帰りに、北朝鮮の男たちに拉致誘拐された。

当時、北朝鮮による拉致、誘拐はしばしば行われていたのだから、これに対する警備はもっとしっかり行われね

ばならなかった。

警備責任の落ち度を厳しく問うこともなく、「返せ、返せ」と叫ぶのは、少しおかしいのではないか。白昼、拉致誘拐された警備責任が、厳しく問われたということは今も聞かない。

元総理を、あれほど無警戒な中で殺されたのは、国家治安の問題として、もっと深く反省しなくてはならないと思う。

早稲田大学を 目指す諸君へのゼミ 希望者は挑戦を

○対象 原則として二年生

○実施日 毎日(参加できる時間から、冬季は午後六時まで)

※原則として長期休業期間を含む

○場所 校長室

○指導者 指導には当面、校長が当たる(新しい協力者が現れることに期待している)

○入室試験 クラウンリーダーのI・II

日本語作文
英語テスト

○質問は直接校長へ

希望者一人でもゼミは実施する。相当辛いゼミになるが、辛さに耐えて頑張つてほしい。指定校推薦を目指す人もあろうが、実力で難関私立大学に挑戦してみても悪くない。

このところ早稲田大学の合格者が少なくなつてきているので、「早稲田ゼミ」を始めることにしたのである。

生まれつきの能力差なんかない!

～一人一人の可能性を最大限に活かす狭山ヶ丘～

2022年度 学校説明会・個別相談会・入試日程のお知らせ

本校ウェブサイトでのご予約は、説明会開催日3週間前の9時から3日前の23時59分まで受け付けております。

※今後の状況により、学校説明会の日程や内容、詳細情報が変更になることがあります。最新情報は本校ウェブサイトをご覧ください。※

高等学校見学説明会

本校ウェブサイトよりご予約いただくと、当日スムーズにご案内できます(予約なしの当日参加も可能です)。

第4回

10:00
開始

10月16日(日)

スクールバスの運行があります

第5回

10:00開始

11月27日(日)

- ・学校長挨拶並びに本校概要説明 ※個別相談に参加される方は、事前に本校ウェブサイトから相談用紙をプリントアウトして記入してお越しください。
- ・入試要項説明・質疑応答・個別相談(予約制) ・わかりやすい!と大好評!「教科別ガイダンス」を行います

高等学校 入試個別相談会

本校ウェブサイトよりご予約いただくと、当日スムーズにご案内できます(予約なしの当日参加も可能です)。

第3回

9:00
開始

10月30日(日)

スクールバスは運行いたしません

	実施日	開始時間
第4回	11月19日(土)	14:00開始
第5回	12月10日(土)	9:00開始
第6回	12月17日(土)	
第7回	12月26日(月)	

附属中学校見学説明会

本校ウェブサイトよりご予約いただくと、当日スムーズにご案内できます(予約なしの当日参加も可能です)。

第3回

14:00
開始

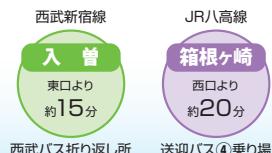
10月15日(土)

スクールバスの運行があります

- ・学校長挨拶並びに本校概要の説明・入試要項説明・質疑応答・個別相談

	実施日	開始時間
第4回	11月5日(土)	14:00開始
第5回	12月3日(土)	

学校見学説明会当日は
2駅よりスクールバスを
運行いたします。



駐車スペースがないため、
車での来校はご遠慮ください。
詳細は本校ウェブサイトをご覧ください。

HP 狭山ヶ丘学園 検索



2023年度 入試日程のご案内

- 附属中学校一般入試 (第1回) 1月10日(火) (第2回) 1月12日(木) (第3回) 1月14日(土) (第4回) 2月6日(月)
- 高等学校推薦入試 専願①・併願① 1月22日(日) 専願②・併願② 1月23日(月) 専願③・併願③ 1月24日(火)
- 高等学校一般入試 専願・併願 2月4日(土)

出願・試験などの詳細に関しては、各入学試験要項をご確認ください。

狭山ヶ丘学園ウェブサイト



<https://www.sayamagaoka-h.ed.jp/>

2023年度入学生向け「学校紹介動画」を公開しました!

本校ウェブサイトでは、日々の生徒の様子や活躍をご覧いただける「SAOKA Journal」のほかにも、学校説明会などで放映している「学校紹介動画」をSAOKA MOVIEでご覧いただけます。SAOKA MOVIEでは、学校紹介動画だけではなく、生徒製作の映像や授業の魅力伝える映像など、文字や写真だけでは伝えきれない学校の魅力を発信できるコンテンツを今後、追加していく予定です。ぜひ、本校ウェブサイトをご覧ください!



SAOKA MOVIE



「スカート」でも「スラックス」でも、 自分らしい装いを選べる制服へ!

2023 (令和5) 年度より
女子の制服に「スラックス」を導入します!



高校の
制服紹介は
こちら



附属中学の
制服紹介は
こちら



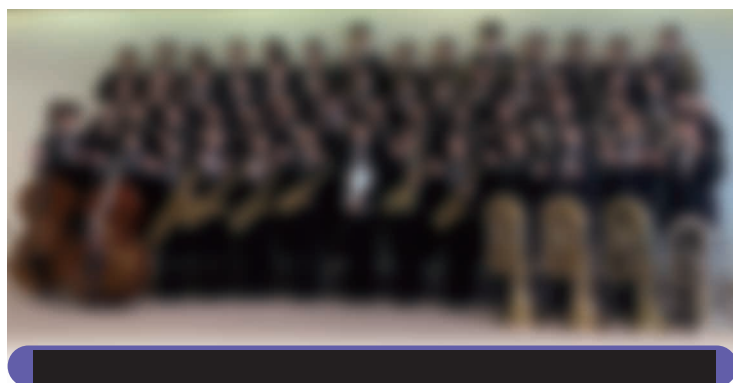
2023 (令和5) 年度より女子 (附属中学校・高等学校) の制服に「スラックス」を導入します。防寒対策や自分らしい装いを選ぶことが可能になります。

女子の制服は「スカート」「スラックス」の片方のみのご購入でも構いません。また、両方ご購入いただき臨機に着用していただいても構いません。

制服や学校生活については、学校見学説明会や個別相談会でご説明いたしますので、ぜひご来場ください。

吹奏楽部

埼玉県代表として 第28回西関東 吹奏楽コンクール出場!



本年度、吹奏楽部は埼玉県代表として第28回西関東コンテストに出場し銀賞を受賞しました。西関東大会は山梨県で行われ、3年生にとっても初めての遠征となりました。

昨年度は県大会銀賞という結果に留まり、その悔しさを胸にこの1年間練習をしてきました。

今年も新型コロナウイルスの影響を大きく受けましたが、この西関東大会は部員全員で出場することのできた初めての大会となりました。苦労も多くありましたが全員で演奏する喜びを感じることができました。

また、西関東大会では出演順が4番と朝早く、出演時間にベストな状態を持っていくための工夫をして練習しました。前日及び当日は午前3時に起床し練習を行うなど、とてもハードなスケジュールでしたが、仲間と支え合い、乗り越えることができました。

同じ目標に突き進む仲間、日々私たちの活動を支えてくださっている保護者の皆様、ご指導くださる顧問コーチの先生方、応援してくださる全ての皆様の支えなしではここまで成し遂げることができませんでした。本当にありがとうございました。今後とも吹奏楽部をよろしくお願いいたします。

弓道部

篠崎 選手

関東大会 個人選抜大会出場!



関東個人選手権予選の通過が決まったときは、嬉しい気持ちがあったのはもちろんですが、正直なところ、「まさか、自分が」という気持ちが一番ありました。もちろん、本戦に出るとい目標はありましたが、普段の自分の実力から考えると、それは、難しいかなと思っていました。

しかし、今回その実力以上の力が出せたのも普段の練習があつてこそです。日々の限られた練習時間の中で、どれだけ自分の形を見つけるか、またそれを落とし込んでいくのかというのを考えて、普段の練習をしてきました。

今回の結果から改めて感じたことは、練習、努力の大切さです。自分自身、毎日練習していても、結果が出ていないことの方が多かったのですが、いつかは結果につながるのだなということを改めて意識できました。また、普段はなかなか結果が出なかったとしても努力し続けることで、いざという時に力が発揮できることを体感できました。

本戦では決勝には進めませんでしたが、この経験を糧に、さらに飛躍できるようにさらに練習に精進していきたいです。

関東個人大会出場を受けて

弓道部顧問 地挽保雄

弓道は個人戦と団体戦が存在し、多くの上位大会は個人・団体ともに試合が行われるが、今回の関東個人選抜は個人のみで、3年生も出場が可能となっている最後の大会である。国体選手やインターハイ出場選手がいる中で、県大会1位という結果を残せたのは、厳しい練習の中で、自分をしっかりと見つめ、努力を重ねた結果だと感じている。同じ目標に向かって切磋琢磨する仲間の存在も重要であり、普段の練習中でも厳しい声掛けを行うなど、互いに高めあう雰囲気がこの結果につながったと思われる。

今後は、上位大会でのさらなる結果を求めつつ、文武両道を大切にしながら練習に部全体で臨んでいきたい。

3年ぶりに一般公開で狭丘祭(文化祭)を開催しました!

第62回(2022年度) 狭丘祭

～咲き誇れ 笑顔の芽 つなごう狭丘祭～



9月10日(土)・11日(日)に、本校の文化祭である「第62回 狭丘祭」が開催されました。コロナ禍により狭丘祭が中止となっていた以来、3年ぶりに一般公開・2日間開催という、従来の狭丘祭に近い形で開催することができました。また、部活動も久しぶりに体育館や講堂でのステージ発表を行うことができ、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮していました。

本校のほとんどの在籍生にとって、「一般公開」で「2日間開催」という狭丘祭は、初めての経験となりました。運営する生徒会役員や行事委員といった生徒たちも初めての運営・企画に戸惑いながらも、コロナ禍で「安全で安心できる」狭丘祭の実現に向け、6月ごろから準備を重ねたことで、大きなトラブルもなく円滑に開催することができました。

本祭2日間で、約3000名ものお客様にご来場いただきました。ご来場いただいたお客様には感染症対策をはじめ、運営にご理解とご協力をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。

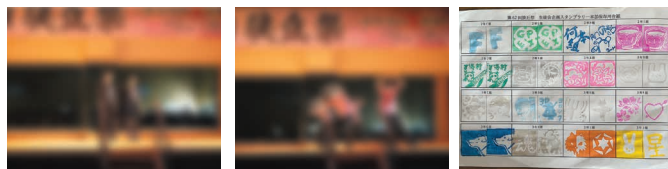
■開祭式・閉祭式の様子

今年度は各教室でのテレビ中継でのセレモニーということを活かし、生徒が制作したオープニング・クロージングムービーや、生徒が歌う国歌独唱映像など、テレビ中継ならではの工夫が行われました。



■クラスT シャツコンテスト・スタンプラリー

生徒会・行事委員会が中心となった企画として、ステージでは各クラスの個性豊かなクラスTシャツコンテストが実施され、その模様は本祭のお昼休みに校内テレビで配信されました。また、これまで数個しかなかったスタンプラリーは、各クラスでオリジナルのものを作成! デザインもカラーもそれぞれのクラスが個性を發揮した素晴らしいものになりました。



■中学生 (テーマを設定して班ごとに発表や劇)



■高校生 (各クラスにて教室展示)



■部活動 (ステージ発表)



■感染症対策

入口での検温、各展示での手指消毒の徹底、常時換気の実施など、最大限の対応を行いました。ご協力いただきました来場者の皆様に御礼申し上げます。



「狭丘祭を終えて」

今年度はコロナ禍における初めての一般公開での狭丘祭となりましたが、とても素晴らしいものになりました。すべては狭丘祭にご来場いただいた皆様や生徒一人一人のご協力の賜物です。心より御礼申し上げます。

しかし、企画・運営するにあたっては様々な苦労や困難がありました。挫けそうになった時もありましたが、他の生徒会役員や顧問の先生が手厚くサポートをしてくれたおかげで、これまでに経験したことのない一般公開の大イベントを無事に成功させることができました。この経験を通して、私自身大きく成長することができました。共に準備に汗を流してくれた生徒会役員の成長と一体感をより強く感じることができました。

この経験を大切にしながら、今後もよりよい生徒会活動・学校生活となるよう努めて参ります。

「笑顔の芽を咲かせた狭丘祭を終えて」

まずは狭丘祭が無事に終わったことを嬉しく思います。生徒会企画の一つとして行ったクラスTシャツコンテストは、たくさんのクラスの参加のもと観客は生徒とお客さんでほぼ満員の中、大きな拍手の中行われました。テレビ放送も行い、全校生徒にクラスTシャツのコンテストの様子を伝えることができ、各クラスのクラスTシャツを見てもうこともできました。

コンテストではどのクラスも個性豊かで、各クラスの展示の特徴をしっかりとらえたTシャツは素晴らしいものばかりでした。中には、クラスTシャツを自分達で染めたクラスもあり、こんなクラスTシャツの作り方もあるのかと驚きました。色々な色や柄のクラスTシャツが校舎内に溢れ返っているのは、すごく綺麗に感じました。

大変なことも多く、あっという間に過ぎて行きましたが、狭丘祭という大きなイベントに携わることができ自分自身大きく成長でき、いい経験となりました。